

# KSKR

2022.7

Vol.55



# つながり通信

編集人:社会福祉法人つながり  
大阪府高槻市富田町4-7-16  
TEL:072-697-7080

## 法人研修を行いました!



令和4年6月18日に、法人全体研修を行いました。

### 社会福祉法人つながり・つながり後援会

- 1P 表紙・目次
- 2P 業務執行理事 挨拶 / 法人からの報告
- 3P~ 6P 社会福祉法人つながり 事業所活動紹介  
【サニースポット・コラム・ワークスポット・ふらっと・ライラック・かるがも】
- 7P~ 11P 家族会ひだまり リレーインタビュー Vol.7  
『親亡きあとに向けて』(増井寿美さん、佐藤てる子さん、土居能子さん)
- 12~13P つながり後援会・家族会ひだまり 総会報告
- 14P 裏表紙

### つながり通信について...

地域に開かれた事業所を目指し、法人内の各事業所の取組みや活動内容等、情報開示を行い、より多くの方々に当法人の方針や活動内容を知っていただく事を目的としています。



## 地域とともにある法人をめざして

社会福祉法人つながり業務執行理事 岡本茂

つながり後援会ならびに家族会ひだまりのみなさまにはこれまで社会福祉法人つながりの事業に多大なご支援を賜り心より感謝申し上げます。

2017(平成29)年6月に業務執行理事着任以降、これまで「法人としての組織運営と経営ガバナンスの強化」と「法人で働く職員のみなさんの処遇改善とやりがい」を通して「利用者のみなさんから選んでいただける法人・施設づくり」をめざしてまいりました。

引き続き、今年度は以下の4点を法人経営の重点課題として取り組んでまいります。

第一は「未来への投資を可能とする法人財政の強化」で、サービスの質と利用率向上により引き続き当期資金収支差額1000万円を目標額として設定としました。

第二は「新たなつながりビジョンの具体化」で、「コラム富田」に続くグループホーム整備のための用地確保を最重点に取り組みます。

第三は「人材育成研修計画策定と職員のみなさんが働き続けられる環境づくり」として離職者を生まない取り組みを強化します。

第四は「地域のまちづくりとの連携協働、災害時における事業継続(BCP)計画の策定」です。

「つながり」は地域の取り組みから生まれ、地域と共にある法人として歩んできました。これからもその強みを十分に発揮できるようにみなさま方のご支援を心からお願い申し上げます。

## 法人からのご報告

### 新評議員のご紹介

関友行評議員が退任されることになり、後任として、元第四中学校教諭・現つながり後援会副会長の中村野里子様が新評議員として選任されましたのでご報告いたします。なお、任期は令和4年3月14日から令和7年6月定時評議員会までとなります。

また、関様におかれましては、長年当法人の評議員としてご尽力いただきましたこと厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

## 社会福祉法人つながり ご寄附報告

佐竹美和子 前田耕一 矢倉諒一 匿名希望 以上4名

2022年1月～2022年7月現在 敬称略:あ～順

令和4年5月 当法人の理事であり、サニースポット利用者ご家族の佐竹美和子様より、法人へ105万円のご寄付をいただきました。いつも利用者様や職員のことを気にかけていただきまして、誠にありがとうございます。

佐竹様をはじめ、当法人を応援してくださる方々のお気持ちを嬉しく感じております。この場をかりて、ご報告とお礼を申し上げます。

社会福祉法人つながり 理事長 川崎昭博

ありがとうございました。心より感謝申しあげます。

# 各事業所活動紹介

## サニースポット

(生活介護)

管理者 小西信之

令和4年度が始まるとともに、支援学校から4名の利用者様が新しくサニースポットをご利用していただくこととなりました。4名の利用者様には約1カ月間のオリエンテーションを通して、所属グループが決まりました。数カ月前までの生活とサニースポットを利用してからの生活では、違いがあり戸惑われているような様子は見られていませんが、先輩利用者様や職員と一緒に活動を行う中で、表情に落ち着きが出てきたように思われます。サニースポットをご利用していただくことで、たくさん経験値につながればと思っています。

さて、令和4年度のサニースポットですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、2年間実行できていない日帰り旅行などの取り組みについて前向きに検討していきたいと考えています。また、前年度に取得した重度障がい者支援加算に基づいた統一した支援を行う事でサービスの質の向上を行い、利用者の皆さまが安心して過ごせる施設となるよう取り組んでいきます。



サニスポの人気商品！！  
シフォンケーキ！！



定番のクッキー

## コラム

(共同生活援助)

管理者  
妹尾弘宣

### チームワークを大事に

新型コロナウイルスの感染者数も減り、インフルエンザもたいになつたねえ」と話す人を見かけますが、グループホームでは、未だに緊張する日々が続いています。ワクチン接種も4回目を接種するのか検討しているところでもあります。

昨年は、この新型コロナウイルスと戦いながら、事業所の課題である収支の改善とサービスの質の向上に職員一丸となつて努めて参りました。ご利用者様のご理解とご協力もあり、目標である収支の黒字化を達成することができました。しかし、災害による倒壊等の恐れがあるコラム津之江の移転が出来なかつたことが、昨年度の課題となりました。賃貸物件への移行も検討してきましたが、既存の建物ではスプリングラーの設置義務があり、家主の負担も大きくなることから困難であると判断しました。公営住宅の申し込みや土地を購入しての新規グループホーム建設など他の案について検討を行っていきます。

4月27日にグループホーム利用のご家族様対象に懇談会を開催しました。昨年度の活動報告と今年度の活動計画の説明を行い、皆様から感謝の言葉と今後への期待の声を頂きました。コラムでは、今後とも良い部分を継続しながら、更なるサービスの質の向上に努めてまいります。



# ワークスポット

(就労移行支援、自立訓練【生活】  
就労継続支援B型、就労定着)

管理者 仲津秀行

ワークスポットでは現在、自立訓練(生活訓練)、就労移行支援、就労継続支援B型、就労定着支援の4つの事業を運営しています。そのどれもが利用者様の人生を豊かにするための自立や就労に関わる支援です。



体育館での運動プログラム

今年度、私たちは事業計画のひとつに「支援プログラムの充実」を掲げました。例えば自立訓練や就労移行支援といった2年間の年限のあるサービスでは、利用者様にその内容をいかに効率よく習得していただけるかを日々、模索しています。社会ルール、コミュニケーション、体力、集中力、作業訓練など、利用者様への支援プログラムは数知れず……。ですが、決して焦らず、職員都合の支援にならないように心掛けています。

月	火	水	木	金	土	日
午前	午前	午後	午後	午前	午後	午前
振り回り・スポーツ	PC (パソコン) 操作	コミュニケーション	作業	作業	作業	作業

自立訓練スケジュール

また最近、私自身、ワークスポットから企業等へ就職された利用者様の職場に訪問する機会が増えたのですが、そこで見える利用者様の働く姿は、「本当に頼もしい」のひとこと。立ち姿、光る汗、真剣な眼差しは「社会人として自立しておられ、普段見られるリラックスされた表情とは、まるで異なります。

利用者様にとっての充実した現在と未来を創るため、今後とも職員一丸となって支援してまいります。



座学



作業訓練

# ふらっと

(放課後等デイサービス、  
児童発達支援事業)

管理者  
平谷知英

気温・湿度共に上がり、汗ばむ季節になってきました。春から初夏、梅雨と、子どもたちが季節の移り変わりを体感できる時期とも言えます。

学校生活では、学校行事が数年ぶりに開催される等、少しずつ元の日常に戻りつつあります。体調管理には気を付けながら、思いっきり楽しんでほしいと思います。

子どもたちのほとんどが半袖で来所され、汗ばむ姿を見てると、夏がもうすぐそこまで近づいているのを感じます。子どもたちの元氣いっぱい笑顔で、1日でも早く梅雨の天気を吹き飛ばしてほしいです！

## \*畑の様子\*

4月下旬に植えたミニトマトの花が咲き始めました。また、トウモロコシの葉もぐんぐんと伸び、成長してきます！収穫が今から既に楽しみです。育てる野菜がどんどん増えてきましたので、水やりをする範囲も増えました！みなさんと協力し合いながら水やりをおこなっています。自発的にじょうろに水を汲み、せつせと水やりをしてくれる方もいらっしやいます。水やりや草抜き等をしながら、野菜の葉の長さや大きさの変化に気付き、食べ物が作られる期間や過程を知ってもらえたらなと思います。



# ライラック

(居宅介護、移動  
支援、相談支援)

管理者  
濱本俊司

地域生活相談所ライラックでは、この4月より相談支援専門員として職員1名が育児休暇から復職し、あらたな体制で地域生活支援に取り組んでいます。

居宅介護や相談支援業務に日々従事している中で感じることは、長い間支援させていただいている利用者様ご本人やご家族の皆様に加齢に伴う、生活面での変化です。具体的には体力の低下や、持病の進行によるADL(日常生活動作)への影響が多く見られます。やりたいことや出来ることをあきらめることなく、利用者様に寄り添い、その時々の変化に応じた適切なサービスを調整・提供し、地域生活に貢献出来るように努めていきます。

また、ライラックでは、令和4年度の事業所の重点課題として、「居宅介護・移動支援(ガイド)・相談支援を3本柱とした事業運営」「業務の効率化と、適切な人材配置と人材育成」「地域連携力のさらなる強化」の3点を掲げています。この3点を職員全員でしっかりと意識して、新型コロナ等の感染症対策にも必要な対応を取りながら、地域社会・利用者様から求められる事業所を目指して参ります。



相談風景



# キッズ スポーツ かるがも

「コロナ禍の中でも、「子育て中の親子が安心して過ごせる」「不安や悩みを気軽に相談できる」「子育て講座やイベントを通して、いろんな情報を知る事ができる」「そういう広場をめざしています。今年度も7人のスタッフで力を合わせ、少しでも子育てを楽しんでいただけるようお手伝いしていきたいと思っています。」

「コロナの状況に合わせてなりましたが、7月から広場の利用者の定員枠を4組↓6組に増やし、人数制限のある子育て講座にはZoomでの参加を考えています。」

新たな取り組みとして、「かるがも」とつながり、気軽に利用していただけるように「かるがも公式LINE」を開設し、毎月のスケジュールやお知らせを配信していく予定です。

また、この2年間で、先輩ママボランティアさんとの交流がなかなか実現できませんでした。ボランティアさんを中心としたイベントや情報交換の場を設け、先輩ママたちとの交流を通して、子育ての悩みや不安の解消につながればと思います。かるがもは、子育て中のママたちを応援し続けます。

(子育て支援

つごいの広場)

支援スタッフ  
川本綾子



子育て講座 Zoom配信



「こだまグループ」による紙芝居



## スタッフ紹介

4月よりかるがもの支援員となりました。

利用者様達に楽しいひと時を過ごしていただける対応を心がけて頑張ります。

どうぞよろしくお願いいたします。

古賀真紀子



## 第7回つながり通信インタビュー

つながり通信インタビュー 親亡きあとに向けて

- 1 親子の関わり—小さいころのこと 原因に思い当たること?
- 2 障がいがわかって—いつ頃? 出産後すぐ 検診 就学前  
→ 覚悟・気持ちの整理は?
- 3 支援—教育機関 ではいつから? どんな?  
サニースポットに入るきっかけ
- 4 子どもの将来について  
—親亡きあとを考えて、今思っていること

家族会グループホーム部会を中心に夜間支援型グループホーム開設にむけて取り組んでいた2015年から連載インタビューが始まりました。



1回目、2回目に登場していただいた元家族会会長の山口富美恵さん、中園功子さんは、現在、ご自身が高齢のため、高齢者介護施設へ入所されておられます。息子さんが5年越しの家族会の取り組みで、夜間支援型グループホーム「コラム富田」(2017年5月開設)へ入居を果たし、ほっとされたのでしよう。入居者の保護者—佐竹さん・宮浦さん・山口さん・山倉さん・山田さんによる座談会4回

目に登場していただいた佐竹美和子さんは、長年地域の教育運動へ関り、息子さんの「コラム富田」への入居を見届けられ、肩の荷を下ろされたかのようにならなりました。



建設中の「コラム富田」

サニースポットの施設づくりに当初から関わり、家族会の役員を引き受けてこられた役員さんたちも、後期高齢者になられた方、目前に控えておられる方、ご夫婦のどちらかが亡くなられた方、子どもさんの身体介護をする体力が限界になりつつある方等々、開設から10年たち、グループホームの整備が急務になっていることを感じさせられます。次なる女性の利用者さんのための夜間対応型グループホームを見すえ、5回目には、長年家族会の会計を引き受けてこられた河野照子さんに登場していただき、昨年6回目は、コロナ禍で家族会が企画したバザーの取り組みにいられた、娘さんを持つ保護者の方3人をお願いし、座談会を開きました。

今回7回目は、23年前の「施設をつくる会」のころより参加されていた家族会の方で、総会終了後たまたまお会いした方をお願いし、アンケートに答える形でお願したものです。

### 増井慶子さん

1984(昭和59)年1月1日 38歳

出産のときのことです。予定日は5日だったけれど、大晦日に破水したので、急ぎ高槻病院に入院しました。あいにく正規の先生はお休みで非常勤の先生がおられました。はじめてのお産でわからないまま、中々陣痛が来なくて12時間待っても来ないので、陣痛促進剤の点滴をしてもらい、3100gで出産しました。



何事につけまわりの子よりゆつくりで、1か月、3か月、1歳半検診で他の子ができることができなくて少し心配でしたが、高槻病院の先生は、

「一歩かなあかんねんから、出だしの1年、2年待ったりいな。ゆつくりでも、そのうちできるようになるから・・・」と言われました。歯の生えだすのも遅かったのですが、レントゲンを撮ったら、

「乳歯も永久歯も写っていたので大丈夫だ」と言われ、1本目の歯がはえてきたのは1歳6か月でした。

検診で腰の骨の発育が悪いのがわかり、フェルトのような布地の「パブリックベルト」—股関節の腰骨の発達が片方未発達だったので、肩から吊るして両足を固定する—を1年間、お風呂へ入る以外はしたので、初めて歩いたのは2歳を過ぎてからでした。

結局、発達が遅い原因はわかりませんでした。

私立の幼稚園に2年行き、公立の小学校へ行きましたが、ちよつとのんびりしていて集団に入りにくい子という感じでした。3年生の担任の先生より、「集団に入りにくい」「数字が苦手です」「発達相談に行った方が良い」と言われ、近所に吹田の子ども家庭センターに行っている子がいたので、週1回集団レクレーションの練習に通いました。



また、大阪医科大学(医大)の小児科も紹介されて行くと、「ボーダーラインなので、様子を見ましよう」ということでしたので、6年生になって医大で発達診断を受け、障がいがありました。軽度の知的障がい—発達遅滞ということでしたが、「何かのまちがいでないか?」と思い、いろいろあたってみました。

医大の担当のKドクターが親身になって話を聞いて下さり、時間をかけて受け入れることができました。けれど、実家で同居の父と母はなかなかわかってくれず、父は死ぬまで理解してくれませんでした。実の娘なので私には遠慮がなく「なんで、うちの家系からこんな子(障がい児)が生まれてくるねん」と責められました。

慶子自身も「自分は普通の子」と思っていたので、2つの小学校が合わさり、教科によって先生が変わる中学校になってから、「苦手な人だけ勉強する」学習室に数学・英語の時間だけ行くことになりました。同じ学年で学習室に行くのはひとりだったので、「おかしな子」と

見られ、学習室へ行っている間に、机に「死ぬ」と彫られたり、上靴がなくなっていたり、下靴にお弁当の残飯がつめこんであることもありました。「なんで私だけ」と慶子から聞かれましたが、ボーダーラインだけに説明できません。

周りの子たちも、「しゃべれる、走れるのに、おまえはズルしてる」「さばりに学習室へいくんやろ」「自分らより勉強するのが少ないからずるい」と見ていたのではないかと思えます。3番目の下の子の学年には5人いてるので、同学年にこういう子らが複数いたら、周りの子の理解ももう少しがうように思いました。

2歳下の真ん中の妹も、中学1年になった時に、姉が学習室で勉強していることで、クラスの子から、「おまえの姉ちゃん学習室行ってるねんなあ」「わあい、あほの姉ちゃんいるやつだれや」と言われたり、教科書を破られたりと、ずいぶんいじめにあつてきました。家で、「お母さんが、お姉ちゃんみたいな人を産むからや」と当たられました。

それで、私と夫もPTAの役員をするなどして、学校へ足を運ぶ機会をつくり、校長先生や教頭先生にも相談しましたが、子どもの方が一枚うわ手で、先生の前ではいい子ちゃん、親が教育熱心でよく勉強ができる子にいいめられていました。

4つ下の三女も、テストとか入学式とか肝心な時に限って慶子がパニックで暴れたりする

のとかち合い、ついていってやれませんでした。目が血走ってしゃべりっぱなしで寝なくて、光愛病院へ非定型精神病\*(病名)で入院したこともありしました。

\*非定型精神病—典型的な統合失調症、双極性障がい、てんかんではないが、急性で発症し、症状はさまざま、治りは比較的良いが、再発することが多い。現実指向で、几帳面、熱中型、他者に配慮する性格。

姉妹の仲は、妹達が20歳を過ぎるまでじっくりとしていまませんでした。3番目の娘は社会人になり姉と距離を置いてから、2番目の娘も介護の仕事柄、この頃は少し理解してくれているようです。

慶子には一生手がかかるので、妹達には、自分の力で生きていけるように国家資格を取らせました。また、3人とも、小学3年から中学3年までガールスカウト活動にも入れ、慶子も楽しく参加していました。



高校は、家からバスと3つの電車を乗り継いで、駅から20分ほどの阿倍野区の文の里の私立高校に3年間、ほとんど休まず通いました。

阪急電車から地下鉄の乗り換えが難しく、入学前の春休みの間に、考えられるいろんな

場合を想定して、通学の時間帯に親がついて片道2時間かかる道のりを2か月かけて練習しました。下の妹からは、「おねえちゃんばかりが子どもじゃない」と言われましたが……。おかげで、3年間校門の前で挨拶する風紀委員をやりきり、表彰状を頂きました。卒業した後、阿倍野で友達と会って遊びに行きました。が、おいしいパンを買って電車賃がなくなり、警察から電話がかかってきて親が迎えに行つたこともあり、通学定期はなく帰りの電車賃を残さないとあかんに、渡したら渡しただけ使ってしまったのです。お小遣いは要る時だけ渡していました。



進路指導の先生と相談し、高校卒業後に、障がい者雇用を始めた象印の水筒を作る下請け会社に入りました。会社には、他にも聴覚障がいの人が一緒に採用され、最初は筆談から手話を教えてもらって仲良くなりました。ところが、耳が聞こえないのいいことに周りの人が悪口を言っているのを聞くのが嫌でパニックになり、ひきこもりになってしまいました。

20歳まで医大の小児科でカウンセリングを受けていたので、担当ドクターが、「サニースポットが新しくできるので、聞いてみたら」と言われて、施設をつくる会に参加し、通所するようになりました。

子どもの将来については、不安があります。いずれはグループホームに入ることになるか

と思っていますが、今は、同じ敷地内に住む妹家族の年少の姪っ子をお風呂を入れたり、甥っ子との関りもあります。今のところ孫らは、「ちよつと太ったおねえちゃん」と思っているけれど、もう少ししたら、話のつじつまが合わないことなどに気づくようになるのではと気がかりです。

家族だけでなく、地域の人との何気ないつながり―行きかえりの道で知り合った人と話すとか、朝一番のバスで通って、サニースポット横のセイフティボランティアの方とあいさつするのを楽しんだり……。そんなつながりがなくなるのはさびしいと思つてようです。

「コロナが流行りだし、「コロナが気になる人は休んでいい」となつてからは、雨降りでもない人もいるのに、私はびちゃびちゃになつていくのんいやや、なんで自分だけ行くの?」と、たまにサニースポットを休んだりしています。

慶子の障がい区分では、グループホームへ入つて通所するのには、お金のこともあるので、もう少し後かと思つています。

### 佐藤真奈美さん

1979年3月26日生 43歳



家の近くの産院で、2人目の安産で、スツと2700gで生まれました。3歳半離れた兄がいます。赤ちゃんの時は、ミルクもそんなに飲まなくて、あまり泣くこともなく寝てばっか

りだったので、心配でタオルを口元にあてて、「息してるわ〜」というくらい手がかかりませんでした。

身軽だったので、上の子より早く寝がえり、早くハイハイもしたけれど、歩くのは1歳半でした。上の子がいるから、けつこうしゃべつたので、そんなにも遅いとは思いませんでした。



幼稚園のころから、他の子とくらべ何をするにも遅かつたけれど、親も「早生まれだから」とあまり気にしていませんでした。幼稚園の先生から、「いつも膝を少し曲げて立っている様子が多いので、検査してもらおうよ」と、京都のヨハネ整肢園という病院を紹介してもらいました。CT検査で、「脳の3分の1位影がある」と言われ、「生まれつきか、生まれてからか、頭に何か衝撃があつたのでは?」と聞かれましたが、思い当たることありません。病院の先生からは、「普通の子ども達と同じように育ててあげてください」と言われました。脳波の検査も大阪の病院で受けましたが、何もありませんでした。何事もするのが遅いので、園長(幼稚園と同じ敷地にあつた小学校校長と兼務)のすすめで、小学校では「つくし(養護)学級」で、国語や算数など2〜3時間は過りました。



楽しく過ごせたみたいです。親も一緒に料理をしたりデザートを作ったりもしました。

中学校にも養護学級があり、お世話になりました。



H先生が担任で、卒業してからもSくんと一緒にお家

に呼んでもらったり、H先生と一緒に歩いて行つてすすめてくださり、中学卒業後は大阪環状線の野田にある洋裁の専門学校へ通うことになりました。最初はついていっていましたが、父親の出勤と一緒に大阪駅まで行き、そこからは、同じクラスの友達に、一緒について行ってくれるように頼むと安心して行くようになり、高槻から通ってくる子もいたので、帰りも徐々に駅まで迎えにいくだけになりました。長期のお休みがあるとまた一からでしたが…。

ミシンでの洋服作りは、父親が洋服関係の仕事をしていたので手伝ってもらいながら仕上げました。今、サニースポットでは喫茶クローバー

他の子についていけないので、クラスでは先生がついてくださる時間もありましたが、つくし学級では好きなことをさせてもら

う。3年通った後は、箕面にある「明光ワークス」社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団の自立訓練(生活訓練)と就労移行支援の事業所へ2年間、電車とバスを乗りついで通いました。南茨木でモノレールに乗り換え千里中央であり、バスで行くので、しばらく送り迎えをしていました。茨木で上級生達と一緒にいるので、その子らの後をついていくようになりまし

た。「だれかがいると安心する」ので、ちょっとずつ離れていき、だいぶんして自信がついて一人でいけるようになりました。

どうきんばかり作る仕事に就職しましたが、本人がいやがり、続けるのがむずかしく、その後は富田の清蓮寺の西にあった「どれみ作業所」にお世話になりました。

20歳の時に障がい認定を受けるのに、精神科の石神先生にみてもらい、「神経過敏症」と言われました。絶えず不安でピリピリしてこわがり、用心深く、慣れるのに時間がかかります。

「どれみ作業所」へ行っている時に、富田にサニースポットができると聞いて、近くなので何人かで一緒に行くようになり、安心しました。

サニースポットでも、他人の目を気にし顔色をよく見ていて、困つても助けてと言えないで、相手の目を追っかけて「どうしたん?」聞かれたら言える

けれど、何年も一緒によほどその人に慣れてないとと言えないようです。



## 土居健造さん

1973(昭和48)年5月11日生まれ 49歳

障がいの原因になるのかははっきりしませんが、思い当たる?のは、実家近くの古い兵庫県立病院塚口分院でのお産です。朝6時から産気づき朝食も食べずに行きましたが、分娩台がひとつしかなく、陣痛が来ても前の人のお産が落ち着くまで置いておかれました。実家の母親がおにぎりを持ってきてくれましたが、「もう頭が見えかけているから……」と食べることもできず放っておかれました。看護婦さんの交代で少なくとも17時過ぎに、3290gで産まれました。頭が大きすぎて、鉗子で引っ張り出されましたが「産道に長くていたので、酸素不足かもしれない」と話をしているのが聞こえました。今も、鉗子で傷ついた跡が残っています。

母乳だけでしたが、三か月検診では10kgあり、離乳食もよく食べ身体はとても元気で



した。ゼロ歳のころは、文化住宅で家が狭く、動かないでじっとしていてもつかまり立ちすることもなく、赤ちゃん用のサークルに乗って、手がからへん子でした。けれど、首のすわりは4か月、はいはいもなく座ったまま両手で部屋の中を移動し、歩いたのは1年8か月で、足が弱くてよくこけていました。検診では「ほかの子と比べて遅いです」と言われていましたが、風邪を引いても鼻水とくしゃみぐらいで、お医者様「いくともなく、

いつも笑顔でパクパク食べて元気に大きくなりました。

2歳7か月で夫の転勤先の鹿児島へいきました。幼稚園で就学前検査を受け、また転勤で県内の川内(せんだい)小学校1年になりました。二語文の片言で話がうまくできなかつたため、たまたま小学校内にあつた、聴覚障がい児も通う「はなしと聞こえの教室」に週1、2度通うことになりました。国語と算数の時間は、「なかよし学級」という別教室へいき、あとはクラスに戻りました。

2年生の夏休み明けに高槻へ戻り、4か月間だけ富田小学校へ通いました。担任の先生がふたりだったので、みんなと同じ教室で学びました。住宅は鹿児島の時とちがつて狭く、隣の物音が聞こえるので、隣の校区に現在の家が見つかり、引越しました。



丸橋小学校では熱心なK先生やM先生、O先生に出会い、1学年4クラスにひとりずつ障がい児がいて、4人に合わせた教育で手をかけてもらいました。

この先も地域で生きていくために、障がいをもつた子ども達の親が集まり、OさんやYさんを中心に、毎月、手作りの文庫「やまびこぼんこ」を寿公民館や芝生集会所を借りて開きました。家族も巻き込んで、丸橋小や三中の先生も一緒にハイキングに行ったり、キャンプをしたりしました。学年を問わずだれでも参加でき、お互いに顔見知りになっていきました。

一緒に文庫に来て、下3人の兄弟は放つたらか

してしたが、大きなお兄ちゃんやお姉ちゃんに遊んでもらい共に成長していきました。

中学卒業後はずっと在宅で、高槻南高の「障がい児者問題研究会を作ろう」という輪に入れてもらい、同級生と一緒に

に南高校を受験しました。3年間、毎週木曜日の放課後に南高校へ通いました。卒業式にも呼んでもらい親子で出席し、午後から修了式を行ってもらいました。ここで知り合った人達と三中の先生で「ビリーブ」というサークルを作り、飲み会をしたり泊りがけで出かけたらし、交流は今も続いています。

サークルの中に千里山生協の流れを組む支所を郡家に立ち上げた方がいて、生協が枚方に移るまでの7年間、午前中だけパンフレットの挟み込みの仕事にいました。

サニースポットに入ったきつかけは、妹が嶋津弘和さんと三中で同級生だったので、嶋津さんから「富田で新しく作業所が出来るので、一緒に参加しましょう」と誘って頂き、サニースポットが出来るお手伝いをさせて頂きました。

サニースポットが出来たら移るという約束で、西町にある「麦の会」「花の会」に吸収される前)にも2年ほど通い、糸と針でコースター



などの手芸などを教えてもらったりしていました。

あと、「ゆうあいセンター(高槻市立障がい者福祉センター)」にも、瀬戸物を焼いたり、ワイプロを習ったりと4つの教室へ、ひとりで自転車です。

本人は、知らない人ばかりの中でもやっていけるようで、サニースポットでも実習生のレクチャーをしたり、シヨートステイで「生活支援センター(すまいる)」を利用した時も、職員さんのお手伝いをしてシャツを変えたりしているようです。

我が家では出来ないというかやらない事でも、サニースポットならがんばって出来ているようです。

なんでも独りで出来ると思われている事でも、とっさの判断や、時計の針が読めないとか、寒暖にあわせて着替えたりとか、部屋の窓を開け閉めしたり等、本当は出来ない事もたくさんあります。

この先、私たち親が元気なうちに、見守ることができなくなる前に、本人にとって「安心して過ごせる居場所(グループホーム)」を1日でも早く見つけてあげて、お互いが安心したいと思っています。



# つながり後援会・家族会ひだまり総会報告 2022. 5

文責:ひだまり役員 通信担当:朝日(岡本)



新型コロナ禍で2年続きの書面議決だったのが、今年度は、富田ふれあい文化センター大ホールにて、5月26日(木)午後1時より、第20回合同総会を開くことができました。法人本部から川崎理事長、岡本業務執行理事、藤森事務長、妹尾統括管理者、小西サニースポット管理者にもご出席いただきました。

委任状19名を含む57名が出席し、議案はすべて承認されました。また、書面開催でご紹介出来ていなかった一昨年、昨年、今年度の新規家族会会員についても、あわせてご紹介がありました。



つながり後援会副会長  
家族会ひだまり 会長  
宮浦ヨシ子

前会長山口さんから引き継がせていただき、4期目を迎える宮浦ヨシ子です。



「コロナ感染症のために第18回第19回の定期総会は、残念でしたが書面決済となりました。」

今年の第20回定期総会は、法人、後援会、家族会のみなさま方のお力添えで無事開かせていただきましたこと、本当に有難く嬉しく思っております。

そして、今年はサニースポットが誕生して20周年を迎え、同時につながり後援会・家族会ひだまりも同じく開設20年目となりました。

これまで支え育ててきてくださったたくさんの方々に深くお礼を申し上げます。

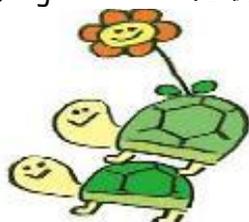
本来ならば、みなさま方と共に祝いもさせていたいただきたいと思いますが、今後の感染状況もよく見て考えていきたいと思えます。

一昨年、昨年、今年と合計12名の新しい方々が家族会にご入会くださいました。ありがとうございます。一緒に活動できる仲間が増えることは、本当に喜ばしいことです。よろしくお願ひします。

会員さんの数も年齢層も大きく広がりました。親さんの年齢もいろいろですし、お子様の障がいも少しずつ違っています。今まで親子共々に一生懸命、暗中模索しながら乗り越えてこられたみなさま方のため家族会だと思えます。

共に考え知恵を出し合い、悩みを語り合う、そして少しでも心を軽くし支えあう場であり続けたいと思えます。

年々会員さんの高齢化も進み、ご家族やご本人の健康状態も周囲の環境も変化してきました。



今こそ、親亡きあとを考へ、託していけるグループホームの建設が急がれる時です。

「コロナ禍の中、理事をはじめ法人の方々、家族会の方々にも調べていただいたり、探していただいたりしておりますが、なかなか条件と予算に見合う場所が見つからないのが現状です。今年もあきらめずに、グループホーム建設に向かって進めていきたいと思っております。」

先日、今年の夏まつりについて、サニースポットからご提案がありました。



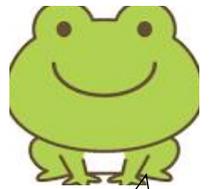
## 家族会ひだまり

会長	宮浦 ヨシ子	家族会員
副会長	千守 町子	家族会員
副会長	中村 君子	家族会員
書記	根本 幸子	家族会員
書記	藤田 明美	家族会員
会計	中川 春枝	家族会員
会計監査	河野 照子	家族会員
特別会計	岡本 悦子	後援会員
特別会計	畠山 定子	後援会員
特別会計監査	益原 直樹	後援会員

去年は、利用者さんと職員さんとのミニ夏まつりを開催してくださいました。今年も「家族会も一緒にしませんか?」とお話しいただきました。「コロナ禍でもありますので、あくまでも、利用者家族と来られた方だけ」と言われております。

みなさまのご意見もお聞かせいただき、私たちもどのように協力させていただきますか検討していきたいと思っております。是非一緒にご参加くださいますようお願いいたします。

最後になり申し訳ありません。後援会のみなさま、賛助会員のみなさま、貴重なご寄付のご協力を賜りましたこと、誠にありがとうございました。今後とも、ご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



## つながり後援会

会長	梶谷 忠大	(元)富田自治会連合会長
副会長	宮浦ヨシ子	家族会ひだまり会長
副会長	田中 薫子	(元)サニースポット 利用者家族
副会長	吉良 摩美	富田・赤大路 地域人権教育推進委員会
副会長	岡本 茂	タウンスペースWAKWAK 事務局長
副会長	中村野里子	(元)第四中学校教員 代表理事
事務局	藤森 正志	(社福)つながり法人事務長
会計	中川 春枝	家族会ひだまり
会計監査	益原 直樹	部落解放同盟高槻富田支部書記長
会計監査	小西 信之	(社福)つながり法人 サニースポット管理者

\*お名前前の敬称・ルビ略

サニースポットができれば20年目、初心にかえる 夢をかなえる、そんな年にしたいと考える、飛躍の年を願っています……

サニースポット(生活介護)利用者川村正男様のご尊父・川村義春様は5月8日(日)ご逝去され、10日(火)密葬にてご葬儀が執り行われました。心からお悔やみ申し上げます。



# つながり後援会会員にご入会&ご寄附



心より感謝申し上げます。

- |       |       |       |         |        |       |            |
|-------|-------|-------|---------|--------|-------|------------|
| 青地かじ子 | 青野英雄  | 朝日悦子  | 石井幸     | 石原小百合  | 茨木照世  | 猪原加予       |
| 江口喜久枝 | 岡本茂   | 小田島純子 | 梶内さゆり   | 梶谷忠大   | 梶谷温子  | 梶谷志帆       |
| 梶谷懐   | 梶本真由美 | 金光英津子 | 神矢貴子    | 川嶋隆    | 川村正男  | 河野照子       |
| 河野剛   | 岸本千恵  | 吉良摩美  | 笹尾英子    | 佐竹美和子  | 佐藤てる子 | 重ほづみ 嶋津耕   |
| 嶋津匡孝  | 嶋津美千代 | 清水直子  | 竹松美奈子   | 田中薫子   | 千守町子  | 土居能子       |
| 中井拓也  | 永江結子  | 中川春枝  | 長田光子    | 中村君子   | 中村勝   | 中村野里子 根本幸子 |
| 畠山定子  | 服部香代美 | 浜岸まり子 | 早見宇多子   | 原田浄子   | 肥後清美  | 平井京子       |
| 藤田明美  | 古瀬和美  | 前田麻里  | 増井寿美    | 宮浦ヨシ子  | 宮下小夜子 |            |
| 三好和子  | 村濱妙子  | 矢野和美  | 山倉憲子    | 山田喜代子  | 雪岡千佳子 |            |
| 吉川泰志  | 吉田仁志  | 吉田茉莉  | 因光寺鷺山和敬 | 以上 67名 |       |            |

2022年4月~6月末現在 敬称略:あ~順

## ~編集後記~

6月に法人研修を行いました。今回は虐待防止、ハラスメント、ビジネスマナー等でした。

当法人では研修で学んだことを、『法人・事業所へどのように活かしていくのか』という事を職員に求めています。この積み重ねがより良い支援につながり、法人のパワーアップにつながれば良いなと思っています。  
つながり通信編集担当: 藤森

## 法人事業所一覧

### サニースポット (生活介護)

〒569-0814 高槻市富田町4-7-16  
(TEL)072-697-7080 (FAX)072-697-7086

### しゃあぶ (日中一時支援)

〒569-0814 高槻市富田町4-7-16(サニースポット内)  
(TEL)072-697-7105 (FAX)072-697-7108

### ワークスポット

(就労移行支援、自立訓練【生活】、  
就労定着支援、就労継続支援B型)  
〒569-0814 高槻市富田町2-1-24  
ハイツエレガンス1F  
(TEL・FAX)072-696-4484

### ふらっと (障がい児放課後等デイサービス事業、 児童発達支援事業)

〒569-0814 高槻市富田町2-11-22  
(TEL)072-668-2781 (FAX)072-668-2785

### コラム (共同生活援助)

(TEL)072-694-1775 (FAX)072-694-1776

### 地域生活相談所ライラック

(障がい児・者ホームヘルプ・ガイドヘルプ・  
障がい児・者 相談支援/高齢者ホームヘルプ)  
〒569-0822 高槻市津之江町2丁目24-12今井ビル2F  
(TEL)072-676-5513 (FAX)072-676-5531

### キッズスポットかるがも 子育て支援 つどいの広場

〒569-0822 高槻市津之江町2丁目24-12今井ビル1F  
(TEL・FAX)072-661-2326

### ★ 法人ホームページ ★

★ <http://tsunagari.info/>

★ Facebook もチェック!

